



3月になりました。寒さはもう少し我慢です。当診療所は開業 10 周年を迎えました！

昨年はいわゆる大富豪が、米大統領選や世界を操っているのでは？ と疑える年でした。あまりに露骨だったのが朴さんと雀さんの関係です。闇サミットを知られば世界の今後の展望が見えるかもしれません。

日本の将来も彼らの手中に！？ 扶養控除の引き上げで、ご家庭のにわか景気はもちなおしですけど

ウイルスと細菌（伊藤）

毎年、冬になるとインフルエンザや風邪の流行が話題になります。なぜでしょう？

風邪の原因の 9 割以上はウイルス感染です。原因となるウイルスは強力なインフルエンザをはじめ 100 種類以上といわれています。その型も刻々と変化をするため特定のウイルス薬を開発するのはむづかしい。

「風邪をひいてしまって・・・」「では、抗生物質と解熱剤を出しておきますね」

医師とこういったやり取りを経験した方は多いのではないのでしょうか。

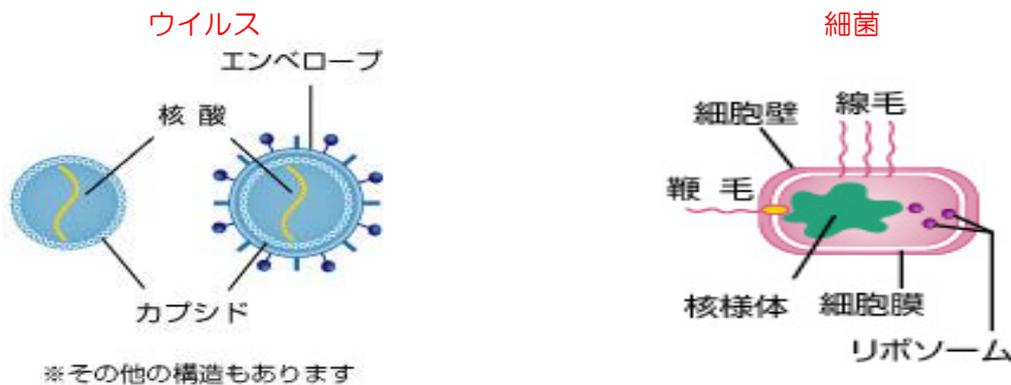
抗生物質は「細菌を殺す薬」なのでウイルス（風邪の主な原因）には効果がありません。

処方される理由は、体調不良で免疫力が低下した体に対して細菌の二次感染を防ぐためです。



ウイルスと細菌って何が違うの？

感染した人のくしゃみや咳で飛び散ったウイルスを吸い込む、ウイルスの付着したものに触れるなどして感染します。どちらも人や動物などに感染して困らせるという点では同じです。大きさはウイルスは細胞に感染するのでおよそ 1000 倍ほどの差があり、ウイルスはnmナノメートル、細菌はμmマイクロメートルの単位で表示します



ウイルス…構造はとても単純です。核酸の周りにカプシド (capsid) と呼ばれるたんぱく質の殻で覆われているだけです。また、生きている細胞にしか取り付きません。自力で増える事ができないので感染した細胞をだましてその力を利用し増殖します。40度以上の高熱に弱く低温、乾燥した環境を好みます。冬にインフルエンザが流行するのも理解できましたね？

細菌…細胞をもっています。感染した生物から栄養をもらって自分の力で増殖もします。栄養があって一定の条件がそろえば増殖できるので、生き物以外（食物など）にも取り付いて腐らせます。

病気にかかってからの対策ではなく、まずはウイルスや細菌の付着を防ぐことが何よりの予防になります。日頃からうがい、手洗いを行い、免疫力を落とさないようにしましょう。うがいをするなら**イソジン系ではなくアズレン系**を用いて下さい。感染が疑われる場合は、風邪薬（主に咳止めや解熱剤でつらい症状を和らげる成分がある）も上手に使い、医師の指示に従って、水分補給し、暖かくして睡眠をしっかりとりましょう。

歯の不思議 (小泉)

むし歯や歯周病などで歯を失ってしまった時

「また歯が生えてきたらいいのに！！」と考えてしまいます。

生き物がどんな歯の生え変わりをするか！？ご存知ですか？

脊椎動物（背骨がある動物）はいくつかの仲間には分類されます。

哺乳類として分類される私達人間は、**二生歯性**という特徴を持っています。

二生歯性とは乳歯と永久歯と二世代あって歯が生え変わる事です。

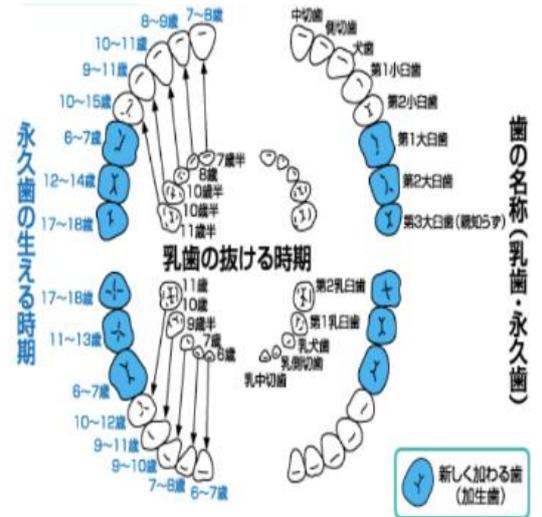
人間は生後6か月頃から乳歯が萌出し始め、個人差はありますが

2歳半くらいに生え揃います。

6歳前後から前歯の乳歯が抜け、永久歯に生え変わりはじめます。

12歳ぐらいまでにすべての乳歯は永久歯に生え変わります。

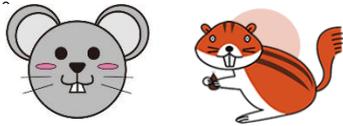
さて他の動物はどうなっているのでしょうか？？



歯の生え変わり様式にはどんな違いがあるのかな？

一生歯性

一生の間に一回だけ歯が生えることで
げっ歯類（ねずみやリスなど）は、上下1対の
伸び続ける歯（門歯）を持っています。伸びすぎない
ように物をかじることで、少しずつ歯が削れて程よい
長さが保たれています。



二生歯性

一生の間に1回歯が生え変わることです。
乳歯から永久歯に生え変わります。
ほとんどの哺乳類の仲間はこの特徴を持っています。



多生歯性

一生の間に何度も歯が生え変わることで。
サメや恐竜は狩りなどで歯を失ってしまった時には、
後ろにある歯が失った歯の列を押し出して、
1列そのまま移動して新しくなります。



ユニークな歯の生え変わりをする生き物

ゾウやジュゴン、使っていた歯がすり
減ると後ろから出てきた新しい歯が古い
奥歯をベルトコンベア式に押し出して
生え変わります。（水平交換）



新年の干支はトリなので、調べてみました！！

は虫類から進化した現在のトリには歯がありません。しかしニワトリを観察してみると卵からヒヨコにかえるときにのみ歯のようなものが存在します。つまりふ化の時に卵の内側からカラを破るためにヒナの上くちばしの先に小さな突起物が見られます。これを卵歯と呼んでいます。トリの祖先である始祖鳥には、上あごに26本、下あごに22本の歯があったそうです。飛ぶために「重くてじゃま」になったのでなくなってしまったとされています。

人間の歯はどんな進化をしていくのでしょうか。

亀の井歯科